

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年への取組（新規）
流域名	阿武隈川・会津・磐城・奥久慈の各流域（福島県内全域）
実施箇所及び実施日	福島県郡山市熱海町熱海地内（ユラックス熱海） 平成23年11月13日 新聞記事での連載（5回） 平成23年10月27日～31日
取組の背景及び必要性	<p>平成23年は国連の定める「国際森林年」であり、年間を通じて、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全等について、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされ、従来から行っている森林の公益的機能PR推進の取組を強化し、広く県民に対する普及に努める必要がある。</p> <p>なお、福島県内全域にわたる取組であり、各流域間の連携により取組を推進する。</p>
取組の内容	<p>福島民友新聞社と福島中央TVにおいて、福島県内全域での国際森林年記念事業を展開する計画であったが、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故等の影響により、国有林での森林整備の計画は中止となり、「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」のみの開催となった。同シンポジウムには林野庁次長がパネラーとして参加したほか、「福島国有林の森を歩く」をテーマにしたパネルを出展した。</p> <p>また、「ふくしまの森を忘れない」と題した福島県内の国有林の見所を紹介した連載記事への協力を行い、5回にわたって掲載された。</p>
国有林担当部局・役割	関東森林管理局指導普及課 福島県内の各森林管理署、各支署 ：パネル展、新聞掲載記事への情報提供
連携協働相手先・役割	福島民友新聞社、福島中央テレビ ：企画運営

【参考資料】

取組名 国際森林年への取組

- 「ふくしまの再生 森と水シンポジウム」に参加した県民



- 同シンポジウムで挨拶する沼田林野庁次長



- 沼田林野庁次長は、パネラーとして参加



- 同シンポジウムに出展した「福島県の国有林の森を歩く」をテーマにしたパネル展



- 展示したパネルを見る参加者



- 「ふくしまの森を忘れない」と題した連載記事、県内の国有林を紹介



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	計画的な木材供給の促進（拡充）
流域名	奥久慈
実施箇所及び実施日	年間
取組の背景及び必要性	<p>国有林材の需要・販路の確保・拡大及び地域における製材業者の育成等を図る必要がある。</p> <p>「システム販売」等により需要者への安定供給に取り組むことは、森林資源の有効活用として必要。</p>
取組の内容	<p>地域の製材工場へ安定的・計画的な地域材供給のため局で実施する「国有林材の安定供給システム販売」に取り組んだ。</p> <p>端材等の林地残材を同時販売により販売し、買受人は、端材等を乾燥用ボイラーの燃料、バイオマス燃料、パーティクルボードの原料等として活用。</p> <p>①需要の開拓、②生産コストの削減、③運搬方法の改善に取り組むと共に局・署連携した情報収集の強化を図った。</p>
国有林担当部局・役割	棚倉森林管理署 システム販売等の実施
連携協働相手先・役割	局販売課 システム販売に係る入札の実施 請負事業体 運搬方法の改善（連携）

【 参 考 資 料 】

取 組 名	計画的な木材供給の促進 (拡充)
-------	------------------



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国有林の間伐事業における民間競争の実施【市場化テスト】 (新規)
流域名	奥久慈
実施箇所及び実施日	福島県東白川郡鮫川村石井草字小名沢・遠ヶ竜国有林266 ぬ2林小班外42 事業期間 H23.9.13~H25.12.20 3年間
取組の背景及び必要性	民間競争入札を導入し、一定のまとまりのある区域の間伐及び効率的な路網整備を行い低コスト化を図る必要がある。
取組の内容	製品生産の請負事業を民間競争入札(総合評価落札方式)により、複数年契約(3年間)を平成23年度から実施し、民間の創意工夫を活用して、一定のまとまりのある区域について高性能林業機械による低コスト作業システムの推進と路網整備に取り組み、生産性の高い間伐を実践している。
国有林担当部局・役割	棚倉森林管理署 事業体の指導・監督等
連携協働相手先・役割	関東局 販売課 事業実施に係る署指導等 請負事業体 間伐の実施と路網整備

【参考資料】

取 組 名 国有林の間伐事業における民間競争の実施【市場化テスト】

路網作設 1



路網作設 2



路網作設 3



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	コンテナ苗の植付けの検証（継続）
流域名	奥久慈
実施箇所及び実施日	福島県東白川郡塙町櫛沢110林班る1林小班 植栽日6月16日 生育等調査 10月6日 1.10ha
取組の背景及び必要性	コンテナ苗導入による低コスト造林の確立は、森林施業の効率化・労働強度の軽減に必要である。
取組の内容	コンテナ苗の導入による植付けを6月16日実施した。 実証的な植栽事業で、10月6日、植付け作業等のデータを収集・分析し、生育状況等について検証を実施した。
国有林担当部局・役割	棚倉森林管理署 低コスト造林の検証
連携協働相手先・役割	苗木生産組合 コンテナ苗木の生産 地域の請負事業体 コンテナ苗木の植栽

【 参 考 資 料 】

取 組 名

コンテナ苗の植付けの検証（継続）

コンテナ苗
の確認



コンテナ苗
の説明



コンテナ苗
の植栽



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	国際森林年記念植樹祭の実施（新規）
流域名	奥久慈
実施箇所及 実施日	福島県東白川郡矢祭町上関河内字馬渡戸国有林70る1林小班 平成23年5月18日実施
取組の背景及 び必要性	本年は「国際森林年」を記念し、地球温暖化防止と緑化活動の啓蒙を図るため植樹祭で森林教室を実施した。
取組の内容	5月18日、「国際森林年」を記念して東白川地方町村会と共催で「植樹からめばえる命育む未来」をキャッチフレーズに東白川地方の緑化活動の啓蒙と林産業の発展に寄与することを目的に「国際森林年記念植樹祭」を開催した。
	同時に地元小学生（矢祭町立東館小学校5年生）を対象に森林教室を実施した。森林のはたらき（水源涵養機能、土砂流失防備機能、森林生態系保全他）、身近にある木材製品を考え、エネルギーの過去と現在の違い、現在のエネルギーである電気は何から作られているのかを聞き、「木質バイオマス発電」があることを説明。さらに、植樹は地球温暖化防止を図る上で大切な役割をしていることを説明し、森林を守り育てることの意義を学びつつ、植樹体験をしてもらった。（参加人数180名。）
国有林担当 部局・役割	棚倉森林管理署 国際森林年記念植樹祭を計画実行
連携協働相 手先・役割	奥久慈流域林業活性化センター 会員の普及啓発を図る 東白川地方町村会、国土緑化東白川地方推進委員会

【 参 考 資 料 】

取 組 名

国際森林年記念植樹祭の実施（新規）

記 念 式 典



植 樹 体 験



森 林 教 室



平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	県境を越えた連携による森林整備（継続）
流域名	奥久慈
実施箇所及び実施日	福島県東白川郡塙町大字真名畑字入山国有林52に9林小班 遊々の森：いずみの森 8月2日、11月24日
取組の背景及び必要性	久慈川の上流・下流の連携を更に深めるため、県境を越えた上・下流の住民が森林林業を体験し、久慈川流域の森林、緑を育む意識の向上と理解を深める。
取組の内容	平成18年に、「遊々の森」協定を締結して以降、久慈川水系環境保全協議会と塙町住民が毎年2回、植栽木の生育状況の観察と森林整備を行い、県境を越えた連携の推進と自然とのふれあいや森林整備を通じて上・下流部の交流を深め緑を育む意識の醸成を図っている。
国有林担当部局・役割	棚倉森林管理署：林業体験・作業等の指導
連携協働相手先・役割	塙町・奥久慈流域林業活性化センター 久慈川水系環境保全協議会

【参考資料】

取組名	県境を越えた連携による森林整備（継続）
作業前打合せ	
作業風景	
意見交換会	

平成23年度 実施メニュー実施結果表

取組名	「緑の雇用」対策へのフィールドの提供 (フォレストワーカー(：林業作業士)研修)
流域名	奥久慈
実施箇所及び実施日	入山57に、伊香沢3は1、赤沢45わ、伊柳沢269る2 櫛沢105ぬ 期間 平成23年6月1日～平成24年1月31日
取組の背景及び必要性	間伐や路網作設等を効率的に行える現場技能者を段階的かつ体系的に育成するための研修フィールドが必要。
取組の内容	<p>新規就業者の確保、育成、現場管理責任者等へのキャリアアップのため、トライアル雇用、OJT研修、キャリアアップに必要なフィールドを提供した。</p> <p>○フィールド提供 5箇所 (25.72ha) ○研修生 8名</p>
国有林担当部局・役割	棚倉森林管理署 フィールドの提供
連携協働相手先・役割	地域の林業事業体 研修の実施

【参考資料】

取組名

「緑の雇用」対策へのフィールドの提供

